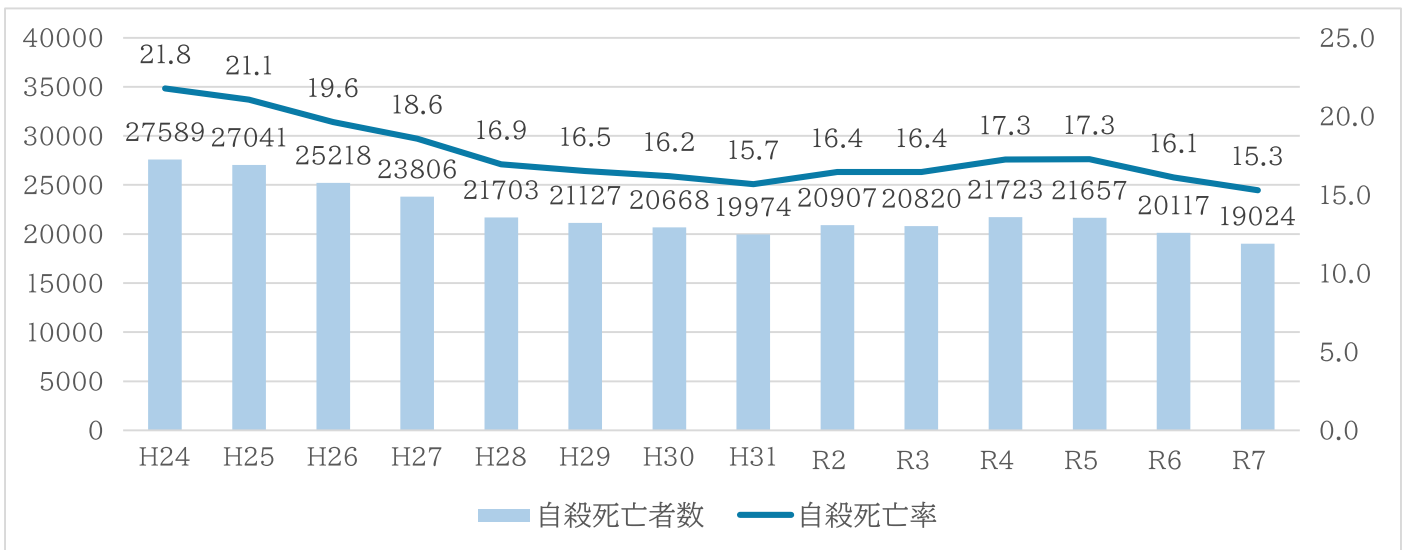


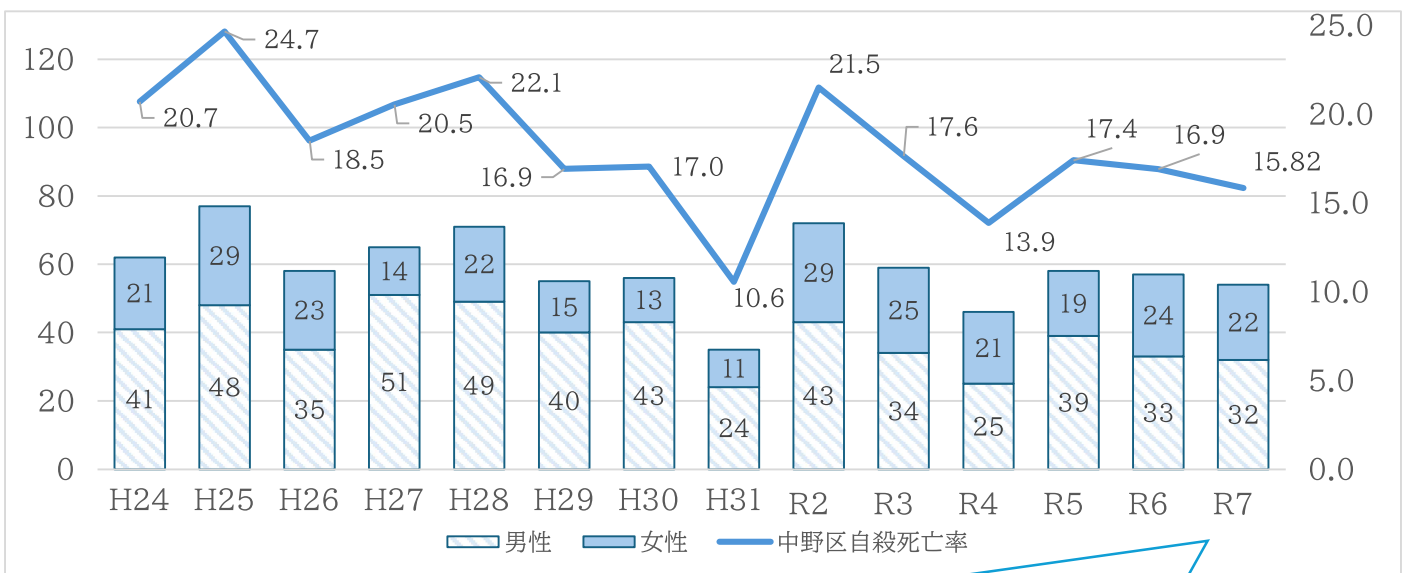
令和7年自殺統計

資料2

【全国自殺者数・死亡率の推移】資料：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料(国・自殺日・居住地)」



【中野区自殺者数・死亡率の推移】資料：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料(市町村・自殺日・居住地)」



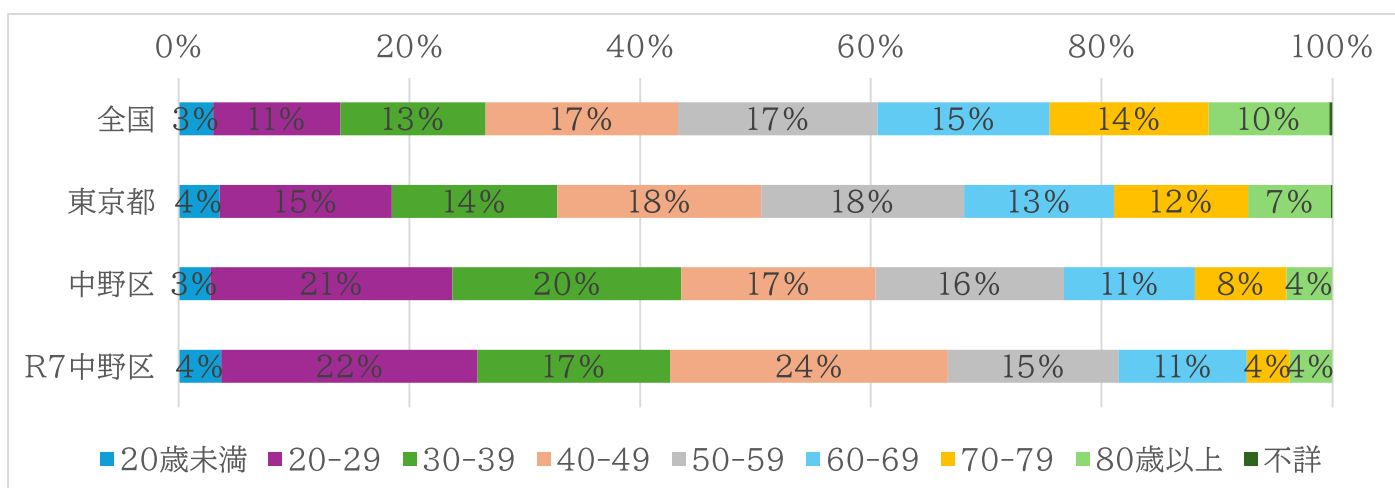
	総数	20歳未満	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80歳以上	不詳
R7 総数	54	2	12	9	13	8	6	2	2	0
R7 男性	32	1	5	3	11	6	4	1	1	0
R7 女性	22	1	7	6	2	2	2	1	1	0

資料：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料(市町村・自殺日・居住地)」

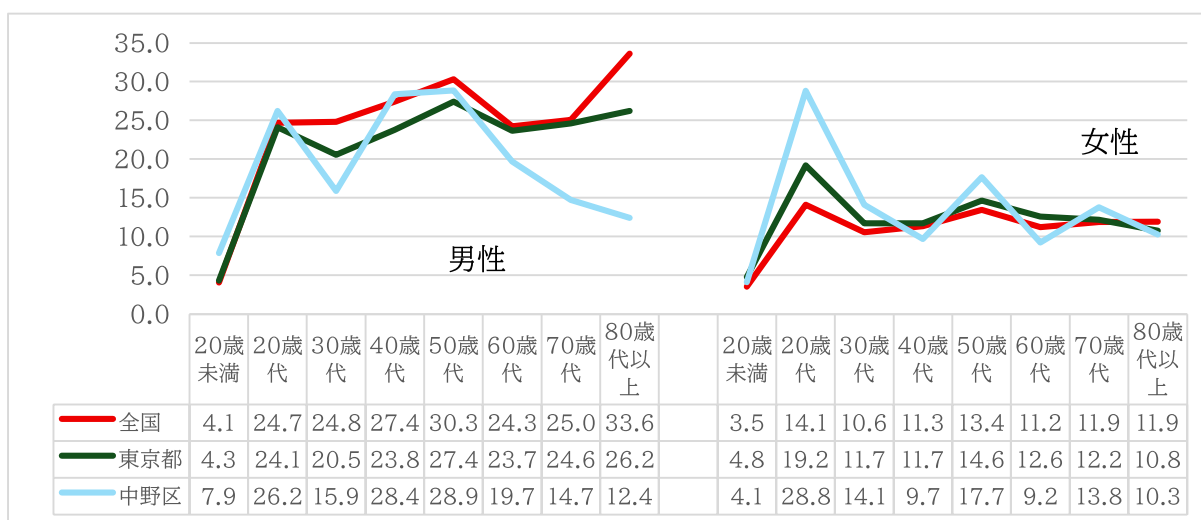


自殺死亡率は、全国に比べて高値であるが、減少傾向になっている。

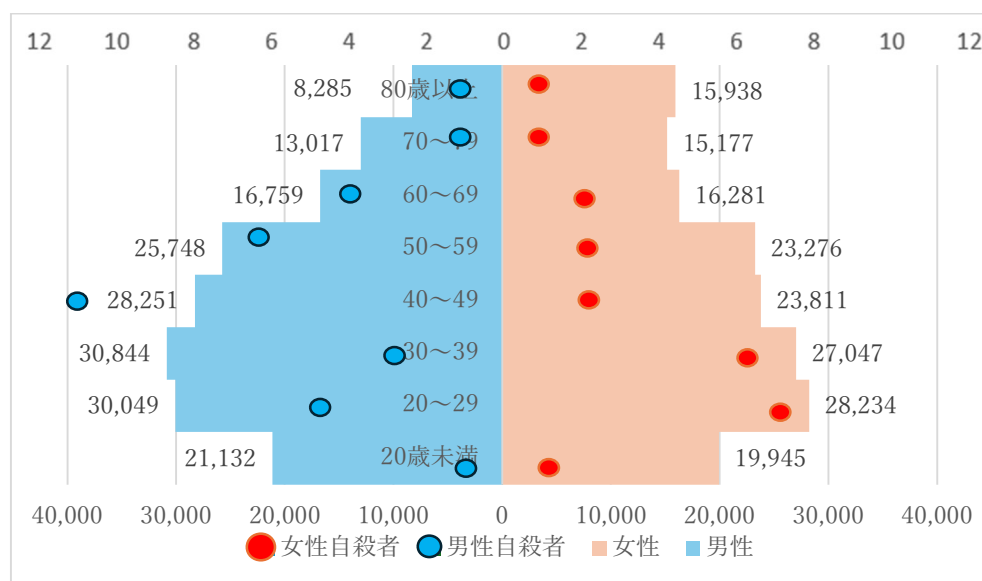
【年代別の自殺者割合(H31～R7)】資料:厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」



【性別・年代別死亡率(人口 10 万人あたりの死亡率)2020～2025年平均】厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」

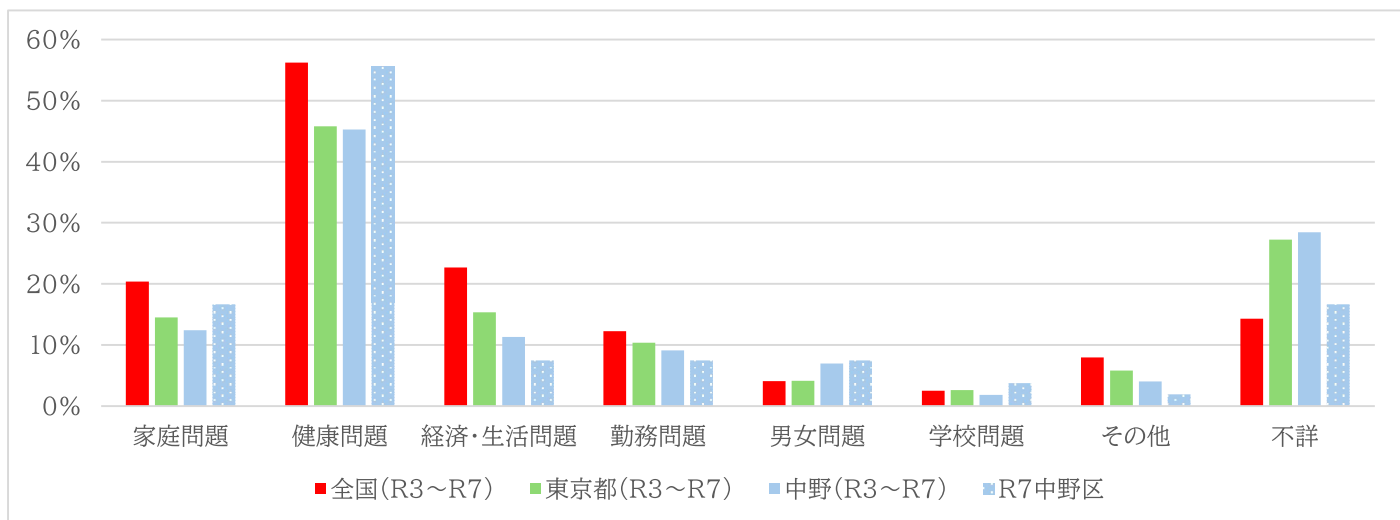


【中野区人口ピラミッドと自殺死亡者】資料:厚生労働省「地域における自殺の基礎資料、人口動態統計」

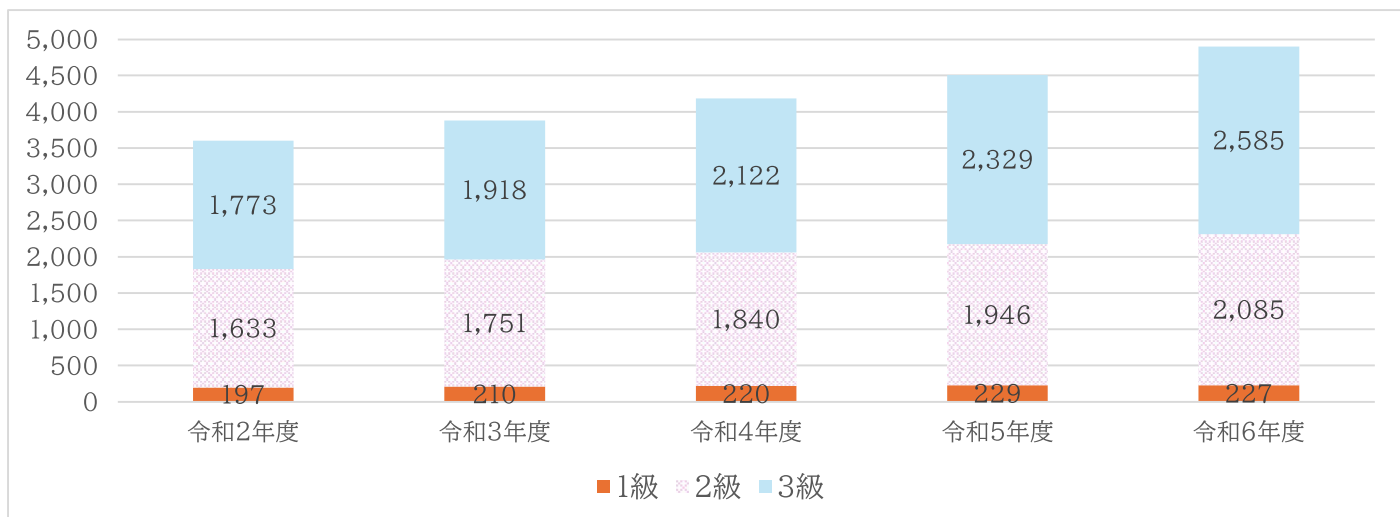


区では、全国・東京都と比べて 20 代・30 代の自殺者割合が高い。自殺死亡率については、20 代女性が高いが、男性はおおむね全国より低い状況であり、特に30代と 60 代以上が低い。

【自殺の原因・動機別比率】資料：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」

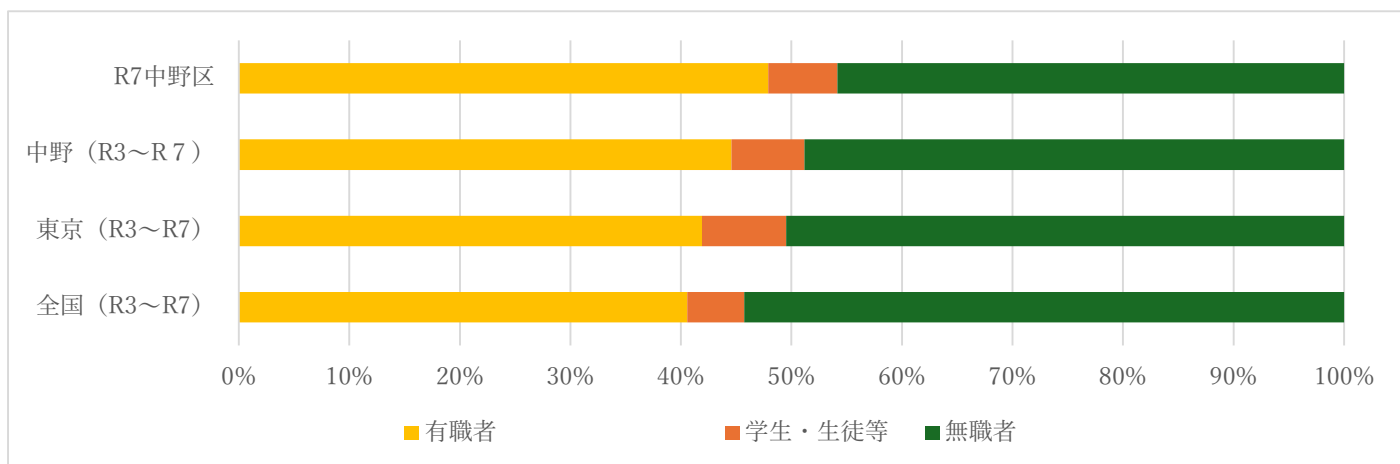


【中野区における精神障害者保健福祉手帳保持者数の推移】資料：第66回中野区統計書



自殺の原因動機では、健康問題の割合が最も高い。精神障害者福祉手帳保持者数は年々増加傾向となっている。

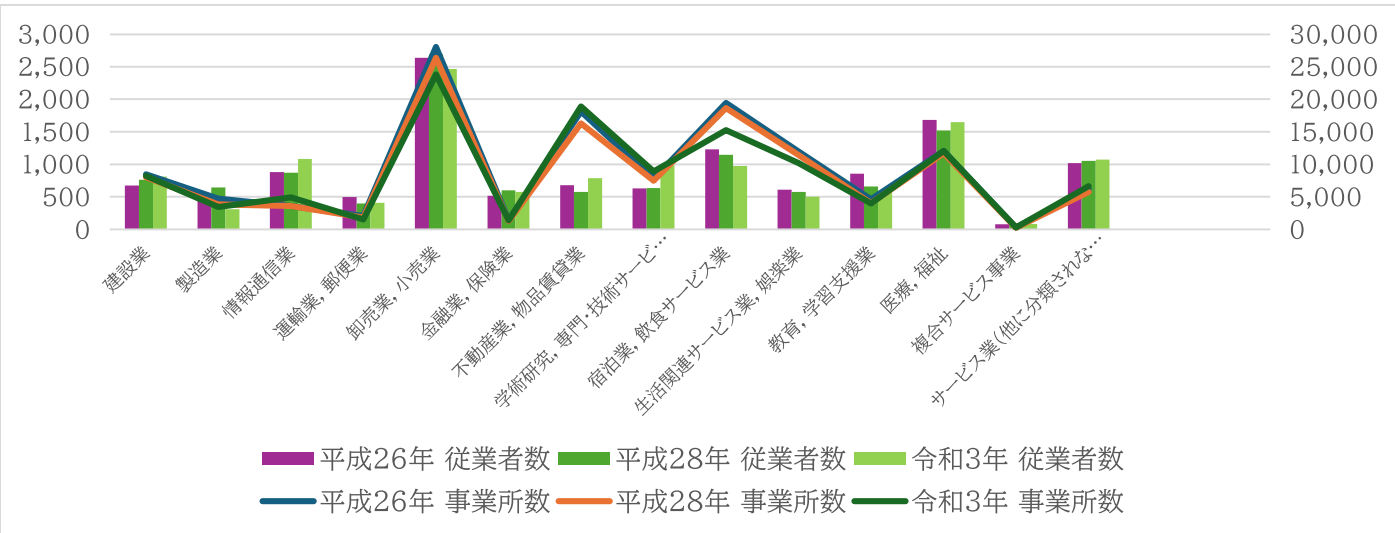
【職業別の自殺者割合】資料：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」



【中野区における職業別自殺死亡者順位(上位3つ)】資料:地域自殺実態プロフィール

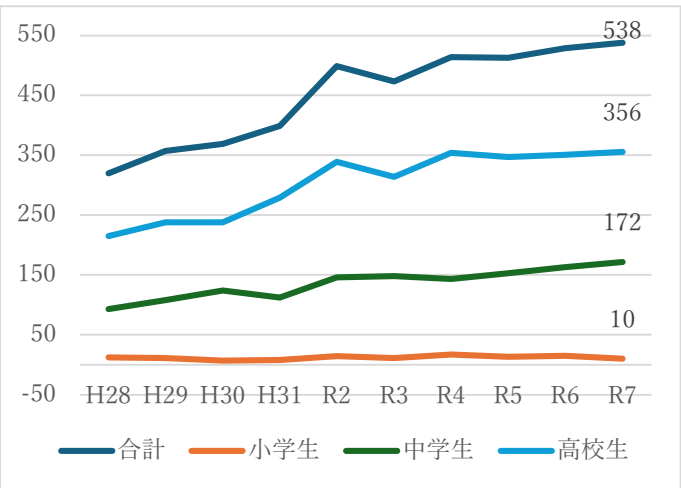
中野区	男性	女性	20～39歳女性	総数
無職者その他	1	2	3	1
16年金・保険等受給者	3	1		2
02_専門的・技術的職業従事者	2			3
03_事務従事者			2	
05_サービス職業従事者		3	1	

【中野区内産業中分類別事業所数及び従業者数(平成 26 年・平成28年・令和 3 年)】資料:第66回中野区統計書

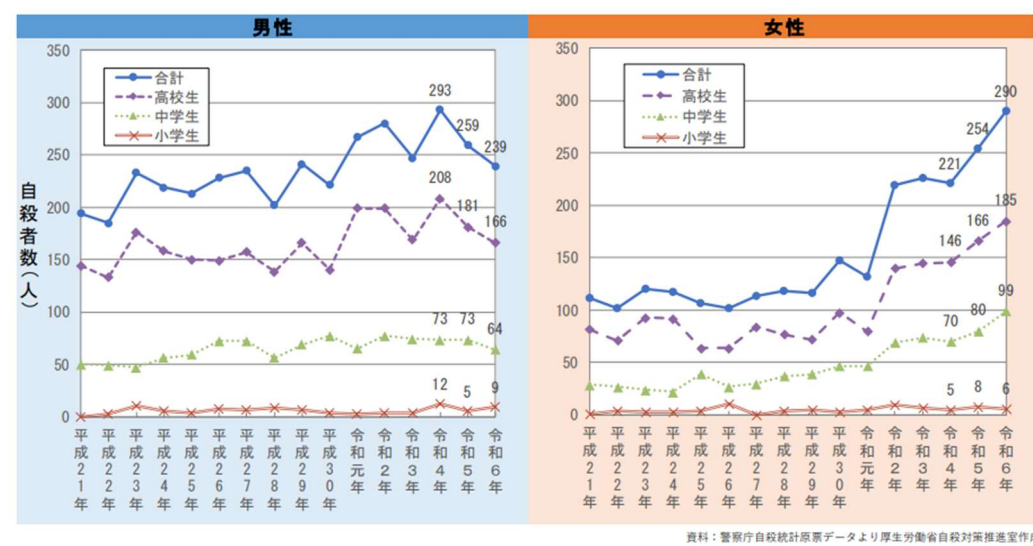


➡ 中野区では、全国や東京都と比較して有職者の自殺者割合が大きい。職業別に比較すると、男性では専門的・技術的従事者が多い。女性ではサービス職業従事者が多く、20代～30代では事務従事者も多い。中野区の事業所は、卸売業や小売業が多く、従業者数としては卸売業・小売業、宿泊業・サービス業が多い

【全国の小中高生別自殺者数の年次推移】資料:警察庁自殺統計原票データより厚生労働省作成



【全国の小中高生別、性別自殺者数の年次推移】資料:警察庁自殺統計原票データより厚生労働省作成



【中野区内 19 歳以下の自殺者数の年次推移】資料:厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」

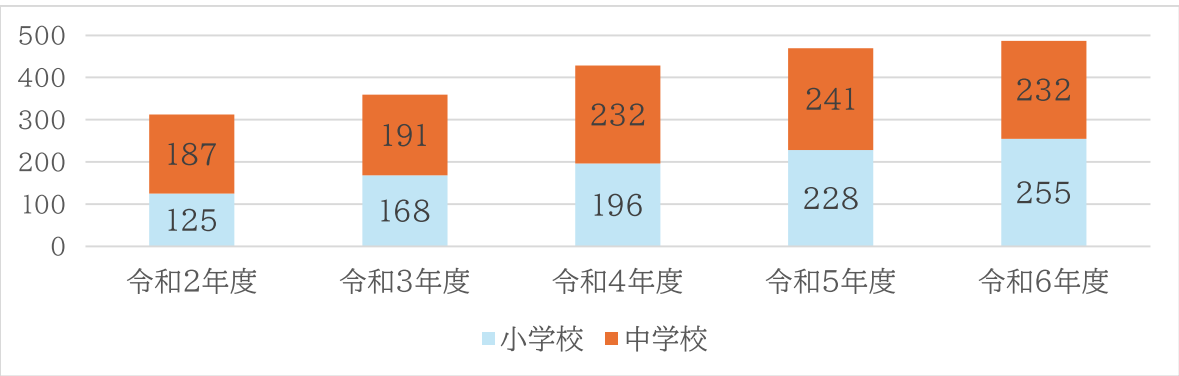
	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7
男性	3	1	1	0	1	3	0	1	2	2	1
女性	0	0	0	0	1	0	0	1	1	2	1

【中野区学生の自殺者数(R4～R6)※公表なし】資料:地域自殺実態プロフィール

	小学生以下	中学生	高校生	大学生	合計
男性	0	0	3	3	6
女性	0	1	1	3	6

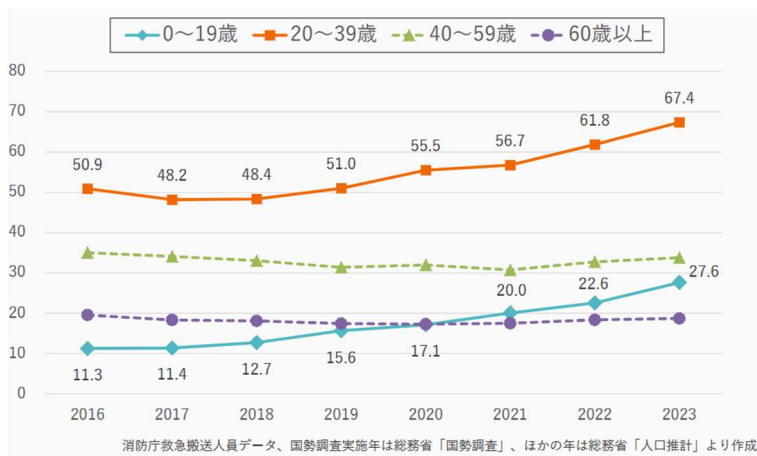
※大学生は専門学校生等を含む

【中野区における不登校児童生徒数の推移】資料:第66回中野区統計書

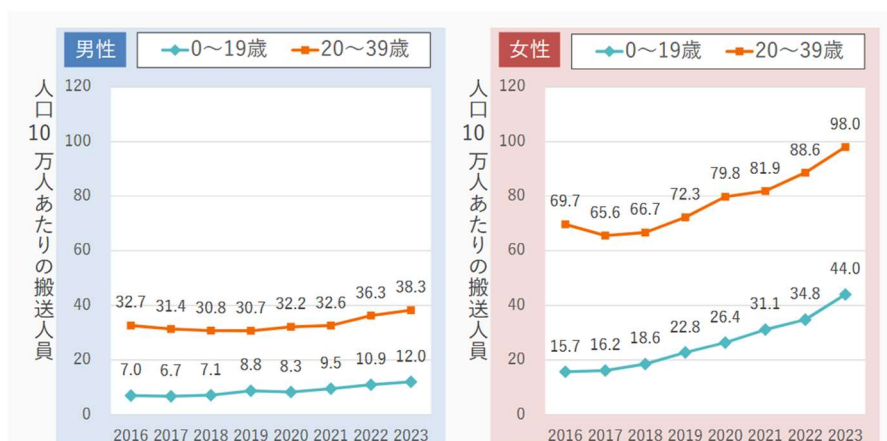


全国的に子どもの自殺者数は年々増加しており、R7 年は過去最多更新。近年では男性は令和 4 年以降減少傾向にあるが、女性では令和元年より急増している。

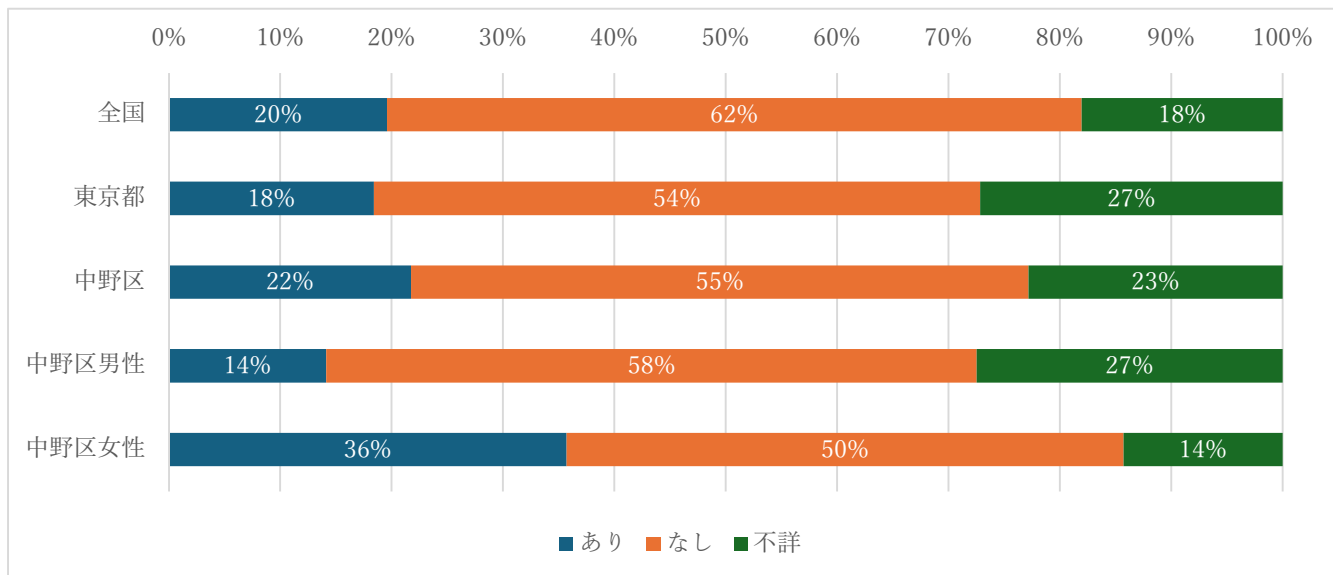
【自損行為による救急搬送率】資料:JSCP 2025年9月 自損行為による救急搬送事案の概要-消防庁救急搬送人員データより-



※ 全国 10万人当たりの搬送人数



【自殺者における自殺未遂歴の有無(平成 24 年～令和 7 年合計)】資料:厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」



自損行為における救急搬送について、20代、30代で増加傾向であり、特に女性に多い。
自殺者における自殺未遂歴のある人について、区では全国、東京都と比較して割合が高く、女性は男性よりも自殺未遂歴のある割合が多い